

子どもの健全育成と、SDGsの目標のうち『貧困をなくそう』『すべての人に健康と福祉を』『質の高い教育をみんなに』の実現に資する活動への支援

## 「子ども食堂による支援を通して、心と体の食事等とともに笑顔とまごころを届ける」事業

### みんなが笑顔になれる共生社会を築くため、子ども食堂で心と体の栄養補給を図る

社会全体として人と人との絆や関わり合いが希薄化し、特に貧困家庭の子どもや家族、高齢者、外国人、障がい者たちが、孤立感や疎外意識を強めていると言われている。そうした方々の心身の健康の回復を図るとともに、お互いに助け合い、支え合う「共生社会」を再構築するため、子ども食堂の実施を中心とした活動に取り組んでいる。



NPO法人アジアキッズケアが実施・運営している子ども食堂



### アジアやアフリカの子どものために支援物資を届ける活動を20年間継続

愛媛県松山市を拠点に活動するNPO法人「アジアキッズケア」は、自分たちの娘を亡くしたことを契機に、2004年（NPO法人化は2011年）にこの夫婦によって設立された。アジアやアフリカなどの貧困状態にある子どもたちのニーズに応え、「子どものいのちを守る」ことを目的とし、20年にわたって子どもの支援活動を継続している。

現地協力者と連携した支援物資の発送、困難を有する子どもへの里親支援という2つの事業を活動の柱としている。支援物資の発送に関しては、これまでアジア、アフリカの18か国の子どもたちに、1,157箱（2023年7月現在）の支援物資を送付している。そのための荷づくりボランティア

活動には、偶数月の第3日曜の14時～16時に、留学生、小学生から大学生、社会人、高齢者、障がい者たちが支援物資を持参のうでで参加している。その際に、留学生などから母国について紹介してもらうことで現地理解を深め、厳しい社会状況に置かれた子どもたちの笑顔や幸せを願って国際交流や支援活動を行っている。

さらに今、新型コロナウイルスによる感染がようやく下火となったとはいえ、コロナ禍で貧困層の困窮が顕著になり、生きること、食べることへの困難や不安が広がっており、食事や食材などの提供による生活支援に加え、温かい心の交流や安心できる居場所が求められている。そのため、孤立や貧困を抱え、居場所のない子どもとその家族、および高齢者、外国人、障がい者たちのいわゆる社会的弱者

とよばれる方々のために、子ども食堂を実施・運営している。

### 毎月2回開催されるハレルヤ子ども食堂で食事や楽しいレクリエーションなどを提供

同法人が運営する子ども食堂は「ハレルヤ子ども食堂」という名称で、経済的な困難などに置かれた子どもや家族、外国人、高齢者たちに対して、ニーズに寄り添いながら、高齢者を中心としたボランティアの方々が心を込めて調理した食事（約80食）を主に会食形式で味わうもので、毎月第2・第4土曜の11時30分～13時30分に、松山市の松山福音センターを会場に実施している。来場が困難な高齢者には、配達支援も行っている。参加費は子ども（高校生まで）無料、大人200円としている。

子ども食堂では予期せぬハプニングなどもあり、それがかえってフレンドリーな雰囲気を会場にもたらしたりしている。

たとえば7月の子ども食堂では、メインメニューとなるピザを焼くのに手間取り、開始時間に間に合わなくなったが、参加者が子どもも交えてピザのトッピングや焼成などを手伝い、一緒に配膳をして楽しく食事をする事ができた。

また、親子が一緒になって楽しく調理したり、高校生や大学生のボランティアと一緒にゲームや紙芝居などのレクリエーションを楽しんだりしているほか、子どもが参加できる音楽コンサート、芋掘りや餅つきなどの親子ふれあい農業体験、ICT機器を活用した家庭学習支援などを行っている。さらにSDGsにも掲げられている食品ロスを削減するために、フードドライブ活動に協力し、支援が必要な方に食材、飲料、衣類、文房具などを配布している。

このような活動を通じ、地域が一体となって貧困という社会的課題の解決を図る気運は徐々に高まりつつあるが、さらなる継続が必要であると考えている。



食事の提供以外にもレクリエーションや食材、飲料、衣類、文房具などの配布も行っている



助成団体: 特定非営利活動法人 アジアキッズケア

<https://asian-kids-care.com/>



### みんなの心と体が元気になる温かい居場所づくりを目指して

助成によって子ども食堂を毎月2回継続して開催でき、心から感謝しております。老若男女のボランティアと協力しあいながら、まごころ込めた手作り料理を提供しています。子どもたちから、「とても美味しかった」「お土産に持って帰りたい」「また友だちと一緒に来たい」といった感想をもらい、ボランティアにも笑顔が広がっています。

特定非営利活動法人 アジアキッズケア  
事務局長 喜安 勝也さん